

みずほCustomer Desk Report 2019/05/31 号(As of 2019/05/30)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.58
TKY 9:00AM	109.57	1.1137	122.00	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	109.92	1.1144	122.25	1.2629	0.6919
SYD-NY Low	109.48	1.1116	121.90	1.2640	0.6936
NY 5:00 PM	109.63	1.1129	122.01	1.2581	0.6898
				1.2610	0.6911
NY DOW	25,169.88	43.47	日本2年債	-0.1700	1.00bp
NASDAQ	7,567.72	20.41	日本10年債	-0.0800	2.00bp
S&P	2,788.86	5.84	米国2年債	2.0659	▲4.20bp
日経平均	20,942.53	▲60.84	米国5年債	2.0240	▲4.62bp
TOPIX	1,531.98	▲4.43	米国10年債	2.2159	▲4.55bp
シカゴ日経先物	20,955	75	独10年債	-0.1760	0.15bp
ロンドンFT	7,218.16	32.86	英10年債	0.8965	0.50bp
DAX	11,902.08	64.27	豪10年債	1.5330	4.25bp
ハンセン指数	27,114.88	▲120.83	USDJPY 1M Vol	6.20	▲0.23%
上海総合	2,905.81	▲8.89	USDJPY 3M Vol	6.43	▲0.20%
NY金	1,292.40	6.10	USDJPY 6M Vol	6.68	▲0.20%
WTI	56.59	▲2.22	USDJPY 1M 25RR	-1.58	Yen Call Over
CRB指数	178.76	▲1.58	EURJPY 3M Vol	6.85	▲0.28%
ドルインデックス	98.14	▲0.00	EURJPY 6M Vol	7.18	▲0.28%

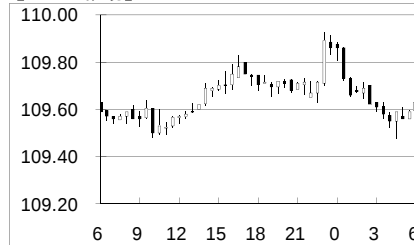
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月30日	21:30	米 GDP(年率/前期比)・二次速報	1Q 3.10%	3.00%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	214k
	21:30	米 PCEコアデフレーター	1Q 1.00%	1.30%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)	4月 0.70%	0.1%

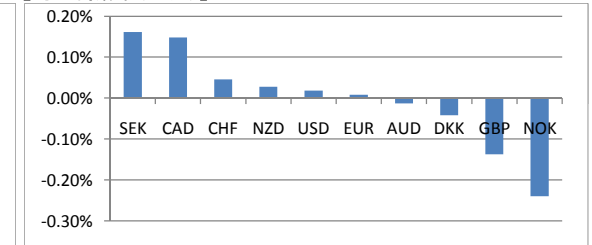
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月31日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	5月 49.9/54.3	50.1/54.3
	21:00	独 CPK(前月比/前年比)	5月 0.3%/1.6%	1.0%/2.0%
	21:30	米 個人所得/個人支出	4月 0.3%/0.2%	0.1%/0.9%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.10-110.00	1.1100-1.1200	121.10-123.20

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場のドル円は小幅な値動きとなった。株安・米長期金利の低下を嫌気してドル売が強まる場面も見られたが、米中通商問題への懸念からドルを含む安全資産への買いが優勢となり、僅かに値を戻した。ユーロは欧州大陸での祝日だったこともあり市場参加者が少なく、動意の薄い値動きとなった。

本日の相場は狭いレンジでの取引を予想。月末・週末ということから相当数の実需のフローが入ると想定されるが、米中通商問題への懸念から株安・米長期金利の低下が重しとなり110.00円の壁を突き抜けることは難しいか。ユーロについては欧州政治・経済への懸念から引き続き下落圧力が強く、ユーロ売・ドル買の傾向は継続と思われる。

東京	東京時間のドル円は109.57レベルでスタート。リスクセンチメントの悪化を背景に前日海外時間から株安・米金利低下が進行、東京時間も序盤はドル売り優勢となり109.48まで下落。その後は株価の下落が落ち着き、米金利も反転したことから徐々に上昇する展開となり、結局109.70レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、109.70レベルでオープン。アジア時間からの流れを引き継いで109.83まで上昇するも上値は限られる。特段の材料も出ない中、結局109.71レベルでNYに渡った。本日のドルは、1.2631レベルでオープン。欧州大陸での祝日であったこともあり市場参加者は閑散。特にクレジット関連のヘドラインもなく小動き1.2611-39で推移し1.2629レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外時間に中国が米国産大豆の購入を休止するとの報道を受け、米中貿易摩擦懸念が強まったことから、海外市場でドル買いが強まり、109.83まで戻したドル円は、109.71レベルでNYオープン。朝方は米第1四半期GDP改定値が3.1%と予想3.0%を上回ったが、前回から下方修正され、コアPCEが低下したこともあり、ドル円の反応は限定的となる。その後は、月末締めと思われるドル買いが優勢となったことから109.92まで戻すが、米4月中古住宅販売仮契約が予想を下回り、短期筋のドル円の売りが持ち込まれているとの話もあり、ドル円は109.65まで反落する。午後に入ると弱いコアPCE結果が再び意識され、利下げ期待から米金利が低下する展開にドル円は109.48まで下落する。終盤に掛けては軟調な株式市場が切り戻したことからやや値を戻し、109.63レベルでクロスした。一方、海外市場でドル買いが優勢となったことから1.1124まで下落したユーロは、1.1136レベルでNYオープン。朝方は、海外市場の流れを引き継ぎドル買いが強まったことから1.1116まで下落するが、このレベルではユーロ買い意欲もあり、その後は米金利が低下する動きを受けたドル売りに1.1141まで戻す。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1129レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・綱島